

令和4年度 姫路市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改定骨子

1 背景

(1) 国際的な動向

- ・国連サミットで、「持続可能な開発目標」を中核とした「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択（2015年）
- ・COP21で、2020年以降の温室効果ガス削減等に関する新たな枠組みであり、全ての国が参加する「パリ協定」が採択（2015年）
- ・125カ国・1地域が、2050年カーボンニュートラルを表明（2021年4月現在）
- ・「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第6次評価報告書第1作業部会報告書政策決定者向け要約」の公表（2021年8月）

(2) 国内の動向

- ・気候変動適応法の施行及び「気候変動適応計画」を閣議決定（2018年）
- ・地球温暖化対策推進法の改正（2021年5月）
- ・地域脱炭素ロードマップの策定（2021年6月）
- ・国の地球温暖化対策計画・エネルギー基本計画の改定（2021年10月）
- ・兵庫県地球温暖化対策推進計画の改定（2022年3月）

(3) 本市の動向

- ・「ゼロカーボンシティ」を宣言（2021年2月）
- ・「姫路市環境基本計画」の策定（2021年3月）
- ・市内で水素ステーションが操業を開始し、西日本初となる燃料電池バスが運行開始（2021年4月）
- ・兵庫県が姫路港におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた検討を開始（2022年～）
- ・「姫路城ゼロカーボンキャッスル構想」が脱炭素先行地域に選定（2022年4月）

2 計画改定の視点

(1) 気候変動適応法への対応

近年、気温の上昇、大雨の頻度の増加など、気候変動及びその影響が全国各地で現れており、さらに今後、長期にわたり拡大するおそれがある。

山林、河川、海岸など、多様な自然地形を有する姫路市において、あらゆる災害を想定した気候変動適応策を検討し、強靭性（レジリエンス）の一層の向上を図っていく必要があるため、本計画を気候変動適応法に基づく気候変動適応計画としても位置付ける。

(2) 地球温暖化対策推進法の改正への対応

① 再生可能エネルギー導入目標の設定

再生可能エネルギーの利用促進等に関する施策を強化するとともに、再生可能エネルギー導入目標を設定する。

② K P I 指標の設定

温室効果ガス削減目標及び再生可能エネルギーの導入目標に加え、施策の実施に関する目標を設定する。

③ 地域脱炭素化促進事業の実現可能性の検討

地域脱炭素化促進事業の促進に関する事項として位置付けられている促進区域について、本市における促進区域の設定可能なエリアの有無及びその区域で想定される事業、さらにその実現可能性について検討する。

(3) 国及び兵庫県の計画改定への対応

国及び兵庫県の計画との整合を図る。

【国及び兵庫県の目標】

	2030年における 温室効果ガス削減目標 (2013年度比)	2030年における 再生可能エネルギー導入目標
国	46% (さらに50%の高みに向け 挑戦を続ける)	36% (研究開発の成果の活用・実装が進んだ 場合には38%の高みを目指す)
兵庫県	48%	約30% (100億kwh)

(4) 地域脱炭素ロードマップへの対応（地域脱炭素の実現に向けた施策の強化）

① 地域脱炭素を成長戦略ととらえ、地域経済の活性化を図る

② 地域脱炭素の取組により地域課題の解決を図る（レジリエンス、地方創生等）

③ ライフスタイルを転換し、需要側から脱炭素実現を牽引する

(5) 脱炭素先行地域の取組との連携

「姫路城ゼロカーボンキャッスル構想」の取組を起点とし、市域全体へ脱炭素ドミノを起し、脱炭素型のライフスタイルや脱炭素型の企業経営の定着を図る。

(6) 兵庫県のカーボンニュートラルレポートの形成に向けた取組との連携

3 計画の目標

(1) 温室効果ガスの削減目標

国（46％）及び県（48％）の計画との整合を図った目標設定に向けて、本市における温室効果ガスの削減ポテンシャルを調査・分析した上で検討を行う。

(2) 再生可能エネルギーの導入目標

国（36％）及び県（30％）の計画との整合を図った目標設定に向けて、本市における再生可能エネルギーの導入ポテンシャルを調査・分析した上で検討を行う。

4 推進施策

(1) 現行計画で位置付けている取組内容の精査や新規事業の洗い出しを行った上で、計画に位置付けるべき施策を抽出する。

(2) 再生可能エネルギーの導入を促進するための施策を強化するとともに、建築物や機器の省エネ化、電動車の導入など脱炭素化に向けたあらゆる取組を促進するための施策の充実を図る。

(3) 気候変動に適應するための取組を強化し、レジリエンスの向上を図る。

(4) 環境省より脱炭素先行地域として選定された「姫路城ゼロカーボンキャッスル構想」や兵庫県のカーボンニュートラルポートの形成に向けた取組との連携を図り、本市の地域脱炭素の実現を目指す。